

平成26年度第1回長野市消防委員会

◇ 日 時：平成26年9月30日(火) 午後2時00分から

概 要

《 第 1 部 (午後2時00分から) 》

- 1 中央消防署の視察 (庁舎、車庫等)
 - 2 新中央消防署建設予定地 (県勤労者福祉センター跡地) の視察
- ※ 出席委員 12 名

《 第 2 部 (午後3時30分から) 》

◇ 場 所：消防局 3階会議室

1 開 会 出席者 16 名

※ 欠席者：吉岡委員 (1 名)

2 会長あいさつ 羽生田会長

3 あいさつ

長野市消防局長 島田消防局長

長野市消防団長 有澤消防団長

4 自己紹介 消防局・消防団

5 新消防委員の紹介について

新消防委員 2 名紹介

6 副会長の選任について

欠員の副会長に、西澤ひとみ様 承認される。

7 議 事

(1) 長野市消防局主要施策等について

※ 島田局長説明

※ 質問、意見等なし

(2) 長野市消防団の現況について

※ 有澤団長説明

※ 質問、意見等なし

(3) 中央消防署庁舎整備と中心市街地の消防体制について

※ 資料に基づき佐伯室長説明

会 長：29 年度からこの中央消防署はなくなるのか。

島田局長：消防署としての機能は残したいと思います。

会 長：2方向ということで、ここに消防署があるということですか。

島田局長：中心市街地に消防署が2つあるような形になります。

ここの芹田地区、古牧地区は、中心市街地の周りで、約2万5千人を超える人口がありますので、救急需要が多いので消防署機能を残しておかないと市民サービスが低下してしまう。

(4) 火災概要について

※ 資料に基づき橋詰課長説明

※ 質問、意見等なし

(5) 救急概要について

※ 資料に基づき小林局主幹説明

※ 質問、意見等なし

(6) 御嶽山火山活動に伴う救助概況等について

※ 資料に基づき小林局主幹説明

※ 質問、意見等なし

会 長：何か質問等ありましたら、消防局の方へお願いしたい。

(7) その他

A 委員：出初式の分列行進の市長観閲の時に、来賓の方々には、前列で観覧できるようにお願いしたい。

もう一点お願いですが、市のポンプ操法大会ですが消防学校で開催されるんですが、消防学校のトイレと他に仮設のトイレなど用意をしていただきたい。

B 委員：分団の火災予防活動で、今年局からの指示で中止したとお聞きした。びんずる祭りで権堂の秋葉神社で3分団の積載車を出して、家族連れの子供たちを乗せて写真を撮ったり話をして、防災センターにある消防自動車の型紙を配ったりして、長い間火災予防をやってきた。局の方で事故を起こすと、まずいからやめてくれと言われた。事故を起こすことはほとんど無いと思います。

車を動かすわけでもないのに、積載車に乗せて写真を撮るだけなので、できれば予防活動にストップをかけるのではなく、応援してやっていただければと思います。その点、ご配慮の方をお願いします。

島田局長：今のお話は、掌握していなく大変申し訳ありませんが、分団で一生懸命、火災予防活動をやっていただいておりますので、よく確認しまして実施していただく方向でお願いしたいと思います。

会 長：私の方から要望したいと思います。我々消防委員としまして公募委員さんもおられますし、それぞれの皆さんも、大変お忙しい中、消防行政につきまして、非常に関心をもって消防委員をやっておられると思います。それらに対しまして、情報の伝達といいますか局の方から何か情報を各委員さん方に伝達できる方法がないかと、それぞれの消防委員さんからご要望等ございましたらそれを局にお願いできないかと考慮をお願いしたい。

瀧澤課長：内部で検討させていただきまして対処するようにしたいと思います。

また消防年報の方に、局の運営方針等がありますので、それもお覧いただければ

ばと思います。また新しいものができましたらお届けするようにします。

A副会長：大分年数がたっていますが、毎月7日は「消防の日」で、消防団には夜間、警鐘の打鳴等、ご苦勞をいただいている訳ですが、最近、消防の日というのが影が薄れてきたかなという感じがしています。その辺のPRを火災予防を含めて、消防団員の皆さんがご苦勞をいただいているので、もう少しPRしていただいて火災予防に努めていただければと思います。よろしくをお願いします。

B副会長：病院におりますので、救急車の件数のことで教えていただきたいと思います。救急状況の出動件数ですが、先ほど平成26年が1万8,000件あまりとありますが、この25年の1万3,000というのは同じ時期の件数ということ、上にあります25年17,810件が25年の総数ということですか。

最初見たときに、びっくりしましたが、これほど救急車が増えたかなと思いましたが、そうではなくて、年度末を予測すれば、約200件くらい増える状況くらいでよろしいでしょうか。

小林主幹：9月26日現在の昨年と平成26年の件数の比がすでに351件あるということで、単純に計算した件数です。

B副会長：救急車が増えていて、搬送された方の実は入院されるのは50%ということで、ほとんどの方はお帰りになるという状況であります。ただし、帰られても、また来るとか、帰られても、ひどくなることもありますので、本当に病院の役割は重要だなと思いますし、今回、木曽病院が御嶽山の災害で、本当に悲惨な状況になりまして、月曜日は外来を休んだとニュースを見て、本当に日頃から病院の訓練とかが大事かなと。10月にもありますので、真剣に取り組んで行こうと今日いろいろ感じましたので、職場へ帰りましたら伝えたいと思いました。

小林主幹：市民病院にはヘリポートを整備してあるので、ドクターヘリの件数が大分伸びておりますので、また御協力をよろしくをお願いします。

事務局：平成27年長野市消防出初式について予定説明

6 閉 会